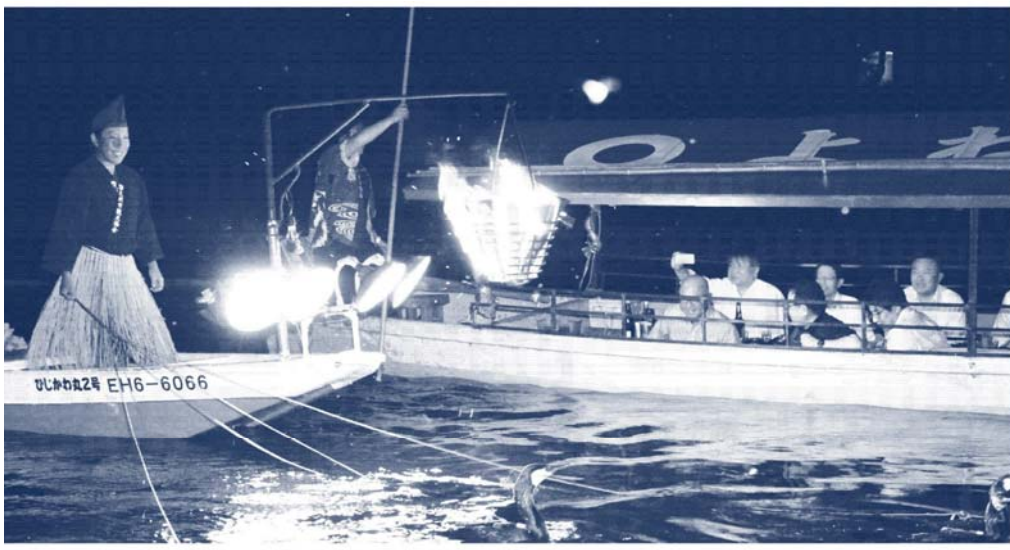
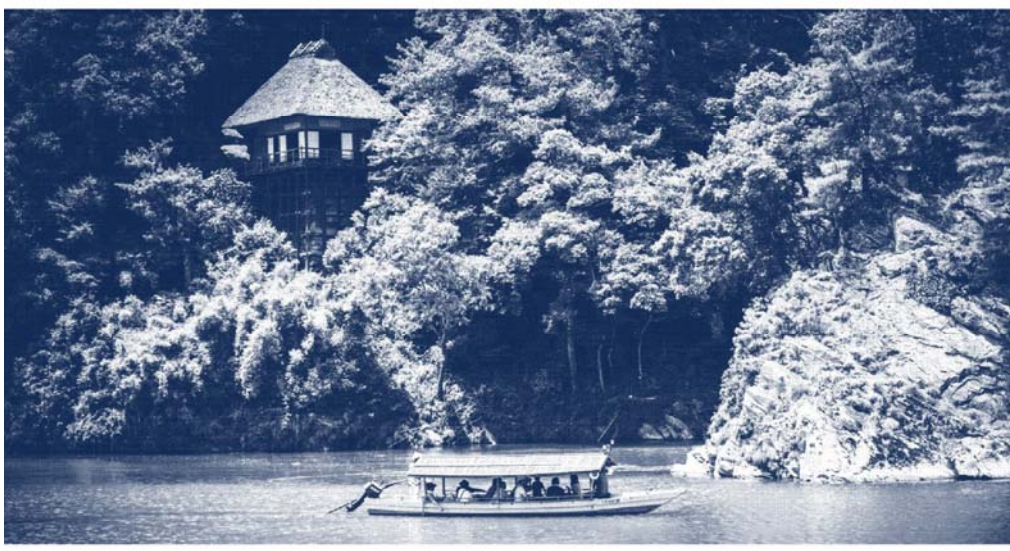


# 肱川かわまちづくり（第1期）

水郷文化とともに育ち続けるかわまちづくり



令和2年1月  
肱川かわまちづくり協議会

## 目 次

1 肱川かわまちづくり計画(第1期)対象地域	1
2 肱川かわまちづくり計画(第1期)整備方針	1
3 肱川かわまちづくり計画(第1期)整備検討	3
3.1 動線計画	3
3.2 整備内容	6
3.3 個別整備計画	10

## 1 肱川かわまちづくり計画(第1期)対象地域

肱川かわまちづくり計画(第1期)の対象地域は、環境整備主要拠点の文化歴史ふれあいゾーン及び肱川環境整備軸とする。



出典：肱川流域平面図  
肱川流域平面図より作成

図1 肱川かわまちづくり計画(第1期)対象地域

## 2 肱川かわまちづくり計画(第1期)整備方針

### 【環境整備主要拠点】

#### 清流肱川、歴史、自然のゾーン別整備

肱南地区から畑の前地区に向けて清流肱川、河川敷の景色を見ながら移動できる「清流体験ゾーン」、大洲城や歴史的町並み、鶺鴒飼等、「伊予の小京都」を満喫できる「文化歴史ふれあいゾーン」、富士山を背景に豊かな田園風景が広がる「自然交流ゾーン」の3ゾーンに分けて整備を行う。第1期は「文化歴史ふれあいゾーン」を対象とする。

「文化歴史ふれあいゾーン」の景観形成における方針は、大洲市景観計画より以下とする。

#### 環境整備主要拠点の景観形成における方針

- 歴史的建造物をはじめ、周囲の環境と調和した整備とする
- 彩度の低い落ち着いた色彩を基調とする
- 周囲の自然が構成する「緑」との配色のバランスを考慮する
- 案内、サイン類は分かりやすさを求める中にも、町並みに違和感を与えないデザインとし、統一を図る

## 【肱川環境整備軸】

### 肱川を見失うことのない広域移動軸の整備

地域拠点、環境整備主要拠点をつなぐ広域移動軸の整備を行い、水郷大洲を通る肱川の魅力を最大限に活用して地域活性化を図る。愛媛県全域で推進しているサイクリング、愛媛国体2017開催等により関心が高まっているカヌー、昨今地域活性化に重要な役割を果たしているマラソンやランニングを対象に、肱川を鹿野川湖下流から長浜まで自転車、徒歩、カヌー等で移動できる移動経路を確保する。

肱川環境整備軸の景観形成における方針は、大洲市景観計画より以下とする。

#### 肱川環境整備軸の景観形成における方針

- 彩度の低い落ち着いた色彩を基調とする
- 両岸に見通せる緑の保全、育成に努力する
- 屋外広告物、工作物の設置は河川景観を損なわないように配慮する

### 3 肱川かわまちづくり計画(第1期)整備検討

#### 3.1 動線計画

##### (1) 「文化歴史ふれあいゾーン」動線検討

「文化歴史ふれあいゾーン」における動線を検討した。観光施設が多い文化歴史ふれあいゾーンにおける移動手段は車両及び自転車、歩行がメインと考えられる。

文化歴史ふれあいゾーンは、交通結節点のJR伊予大洲駅に加え、大洲城や臥龍山荘、おはなはん通り、赤煉瓦館等の観光施設が集中する肱南地区に位置し、駐車場の整備されている大洲まちの駅あさもやはゾーン内の狭域交通結節点と考えられる。「かわ」と「まち」が行き来できる箇所を「かわまち結節点」として図3.1(1)に示した。JR伊予大洲駅とかわまち結節点をつなぐ動線(←→水色線：歩行者対象)を肱川かわまちづくりの歩行者動線として設定する。なお、大洲城に最も近いかわまち結節点には、肱南公民館の改修に伴う複合施設の設置等の予定があることから、ゾーン内の生活・観光拠点として設定する。肱南・肱北地区の「まち」の歩行者動線を考慮した、かわとまちの連携動線(歩行者)を図3.1(2)に示す。



図3.1(1) 文化歴史ふれあいゾーン 動線計画

出典：ArcGIS  
道路地図より作成

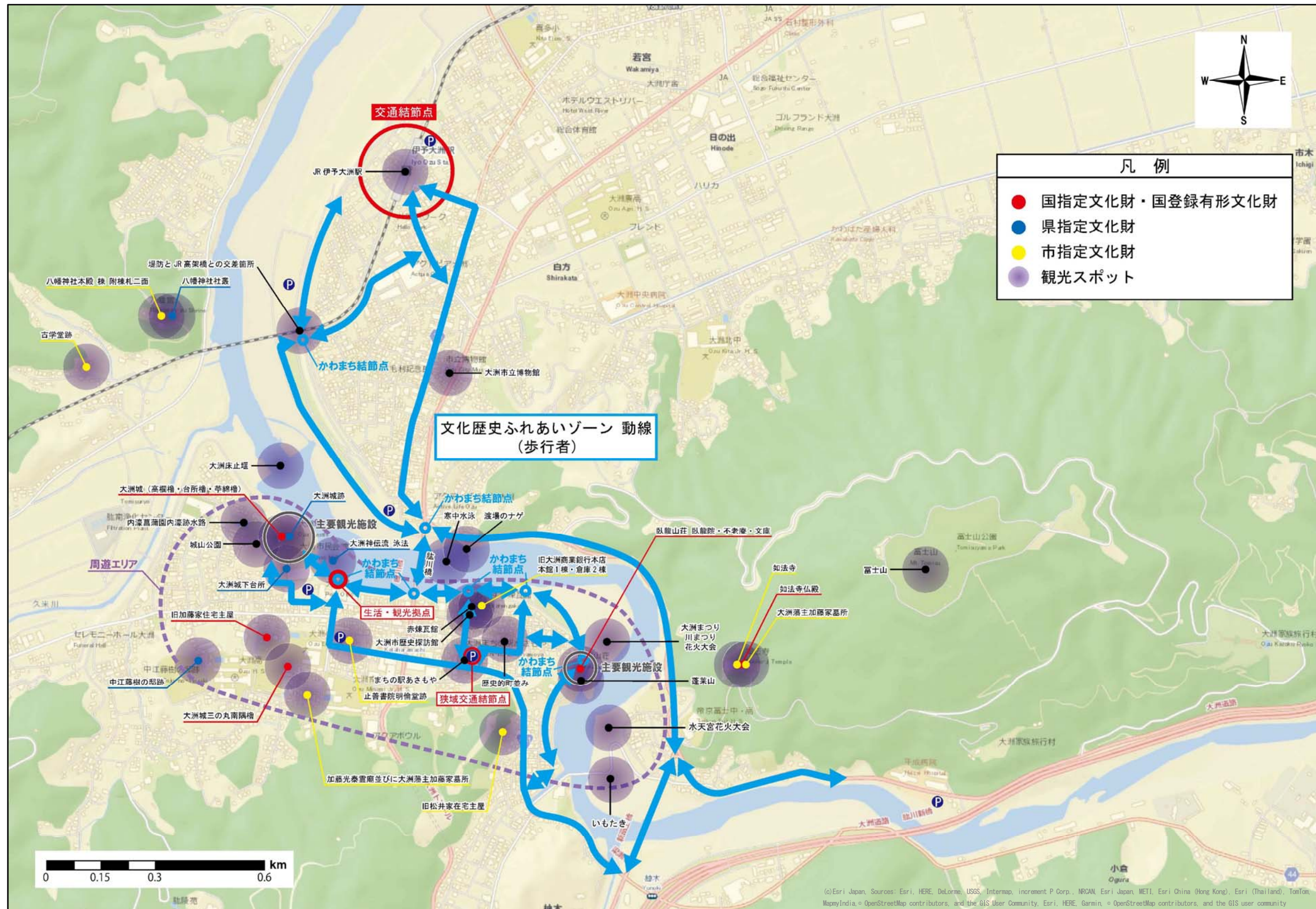


図3.1(2) 文化歴史ふれあいゾーン 動線計画(かわとまちの連携動線(歩行者))

出典：ArcGIS  
道路地図より作成

(2) 「肱川環境整備軸」動線検討

「肱川環境整備軸」における動線を検討した。大洲市内を縦断する広域動線における移動手段は車両及び鉄道(JR四国)がメインと考えられる。環境整備主要拠点と地域拠点(肱川地区、長浜地区)を結ぶ路線バスや、環境整備主要拠点内を循環するバス「ぐるりんおおず」もあり、高齢化の進む地域住民の移動を支えているものの、運行本数は少ない。環境整備主要拠点内の車両のメイン動線は大洲ICから大洲肱南ICをつなぐ国道56号および国道197号の経路と考えられる。(←赤線：車両対象)

JR伊予大洲駅は大洲市街地のメイン道路である国道56号に近くに位置し、駐車場、バス停、レンタサイクルも整備され、歩道のカラー舗装等も進められており、鉄道、車両、バス、自転車、歩行、全ての移動手段の乗り換えが可能な交通結節点と言える。「肱川環境整備軸」の動線は、JR伊予大洲駅を通り、長浜から鹿野川ダムまでつなぐ動線(←青線：車両及び自転車対象)が考えられる。鹿野川ダムから国道197号を下り、肱南地区、肱川橋、緑地公園、畑の前地区を通過しながら肱川右岸側を通り、畑の前橋を渡って愛媛マルゴト自転車道のサイクリングコースである右岸側を長浜まで出る動線とした。

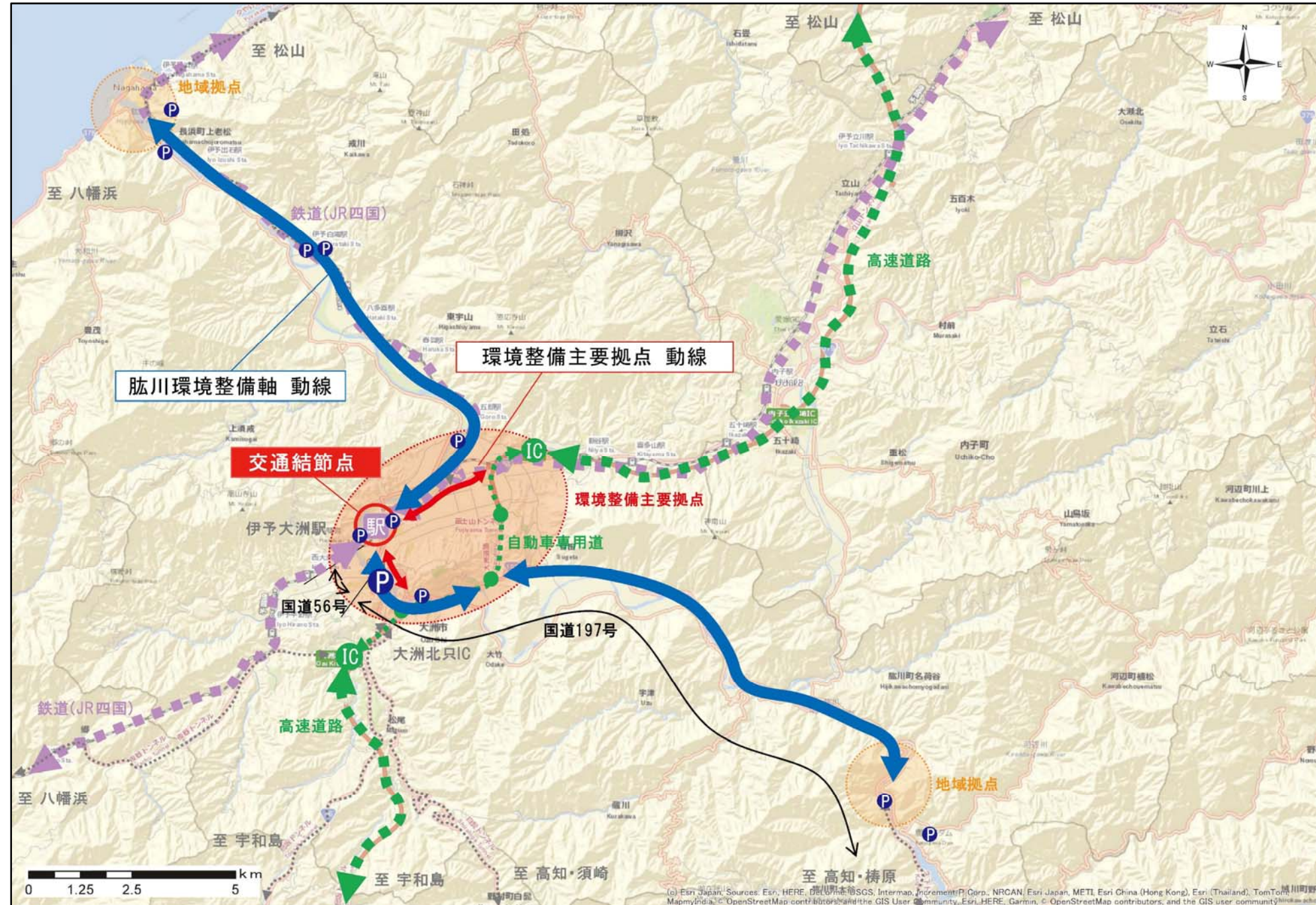


図3.1(3) 肱川環境整備軸 動線計画

出典：ArcGIS  
道路地図より作成

### 3.2 整備内容

「水郷文化とともに 育ちつづけるかわまちづくり」を基本理念に、肱川とともに歩んできた歴史、文化、伝統を活かしながら将来にわたって活力ある地域づくりを進めるため、平成30年7月豪雨災害からの復興に合わせ、人が集い、自然・歴史等にふれあえる水辺空間の整備を行う。

整備は段階的な実施(第1期～第3期)を想定し、鹿野川湖下流から長浜までの肱川下流域の一体的整備を図る。なお、整備内容については、肱川かわまちづくり協議会及びワークショップ(WS)等で挙げた意見を基に検討を進める。



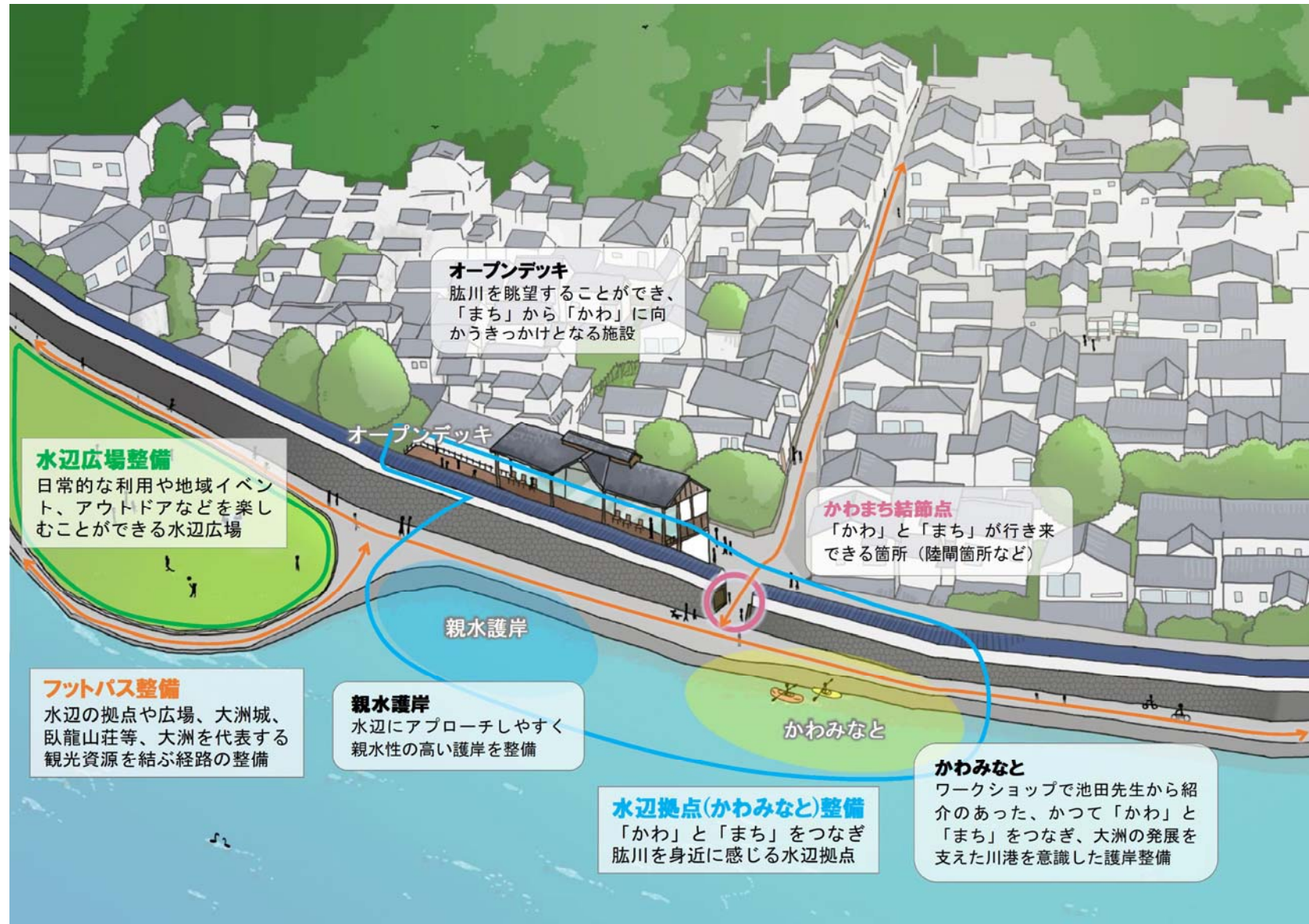
出典：肱川流域平面図

肱川流域平面図より作成

図 肱川かわまちづくり計画 第1期～第3期整備構想



## 整備概要イメージ



(1) 文化歴史ふれあいゾーン

文化歴史ふれあいゾーンでは、「かわ」と「まち」をつなぎ肱川を身近に感じる「水辺拠点(かわみなと)整備」、日常的な利用や地域イベント、アウトドアなどを楽しむことができる「水辺広場整備」、これらの水辺拠点や広場、観光名所などを結ぶ「フットパス整備」を行う。



出典：国土地理院ウェブサイト(<https://mapps.gsi.go.jp/>)  
空中写真(国土地理院)より作成

図3.2(1) 肱川かわまちづくり計画(第1期)整備計画 文化歴史ふれあいゾーン

(2) 肱川環境整備軸

「広域移動軸整備」として、既存施設を有効に活用してサイクリングやカヌー利用者などが立ち寄れる水辺の拠点を整備するとともに、上流から下流まで各拠点をつなぐ移動経路を確保する。



出典：肱川流域平面図、国土地理院ウェブサイト(<https://mapps.gsi.go.jp/>)、大洲市立博物館所蔵資料  
 肱川流域平面図、空中写真(国土地理院)、大洲市立博物館所蔵資料より作成

図3.2(2) 肱川かわまちづくり計画(第1期)整備計画 肱川環境整備軸

### 3.3 個別整備計画

整備項目	整備項目1：水辺拠点(かわみなど)整備
<p><b>整備概要</b></p> <p>肱南・肱北地区周辺において、肱川を身近に感じる水辺の拠点を整備する。肱南公民館周辺などには、かつて「かわ」と「まち」をつなぎ大洲市の発展を支えた「かわみなど」を整備する。「かわみなど」は親水性の高い空間を整備するとともにサイクルスタンドや案内看板などを設置する。</p> <p>また、鵜飼い客等が安全に利用できるよう船着き場の未整備箇所等を整備するほか、出水時に船を安全に避難させられるよう配慮した整備とする。</p> <p>なお、大洲市において肱南公民館の改築ならびに周辺整備が計画されている。基本構想では公民館にカヌー艇庫が併設されるほか、肱川沿いにオープンデッキが整備されることになっていることから、肱川かわまちづくりと連携し、より一層の水辺の賑わい創出を目指す。</p> <p>また、柚木、如法寺地区では河川激甚災害対策特別緊急事業による築堤、堤防嵩上げが進められており、治水事業と連携して整備を進める。</p>	<p><b>整備イメージ(合成写真、イメージ図、パース図等)</b></p>  <p>かわみなど整備、船着き場未整備箇所等の整備後の活用イメージ</p>
 <p>出典：国土地理院ウェブサイト(<a href="https://mapps.gsi.go.jp/">https://mapps.gsi.go.jp/</a>)、大洲市肱南公民館周辺整備基本構想(案) 空中写真(国土地理院)、大洲市肱南公民館周辺整備基本構想(案)より作成</p>	 <p>大洲市肱南公民館周辺整備基本構想 (構想段階イメージ)</p> <p>出典：大洲市肱南公民館周辺整備基本構想(案)</p>
<p><b>整備・維持管理体制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○かわみなど(親水空間整備)：河川管理者(国)</li> <li>○かわみなど(サイクルスタンド、案内看板、トイレ、水道等)：大洲市</li> <li>○船着き場未整備箇所整備：河川管理者(国)</li> <li>○オープンデッキ整備等：大洲市(肱南公民館周辺整備事業)</li> </ul>	<p><b>整備の効果</b></p> <p><b>○かわみなど整備、オープンデッキ整備等</b></p> <p>かわみなど等の親水空間、加えて整備予定の肱南公民館から繋がるオープンデッキが整備されれば、「まち」から「かわ」への連結性の向上が図られる。これにより日常的な水辺の活動拠点が生まれるほか、肱南公民館にカヌー艇庫が設置されれば、カヌー等利用者の利便性が向上し、大洲市内外からの利用者の増加が見込まれる。</p> <p>また、多くの要望が挙げた親水性を高め子ども達が安全に川で遊べる空間を創出することにより、豊かな自然と交流し肱川を身近に感じる機会が増える。</p> <p><b>○船着き場未整備箇所等の整備</b></p> <p>鵜飼い船等の係留場所で護岸等が整備されることにより利用者の利便性・安全性の向上が見込まれる。また、出水時の船の管理・避難についても配慮することで、安全性の向上が期待できる。</p> <p><b>推進体制</b></p> <p>鵜飼い登録店組合、肱川漁業協同組合、愛媛県カヌー協会等との協力のもと、大洲市肱南公民館周辺整備基本構想等と合せて計画を進めることにより、相乗効果で観光客、地元住民にとって魅力あふれる整備を行う。</p>

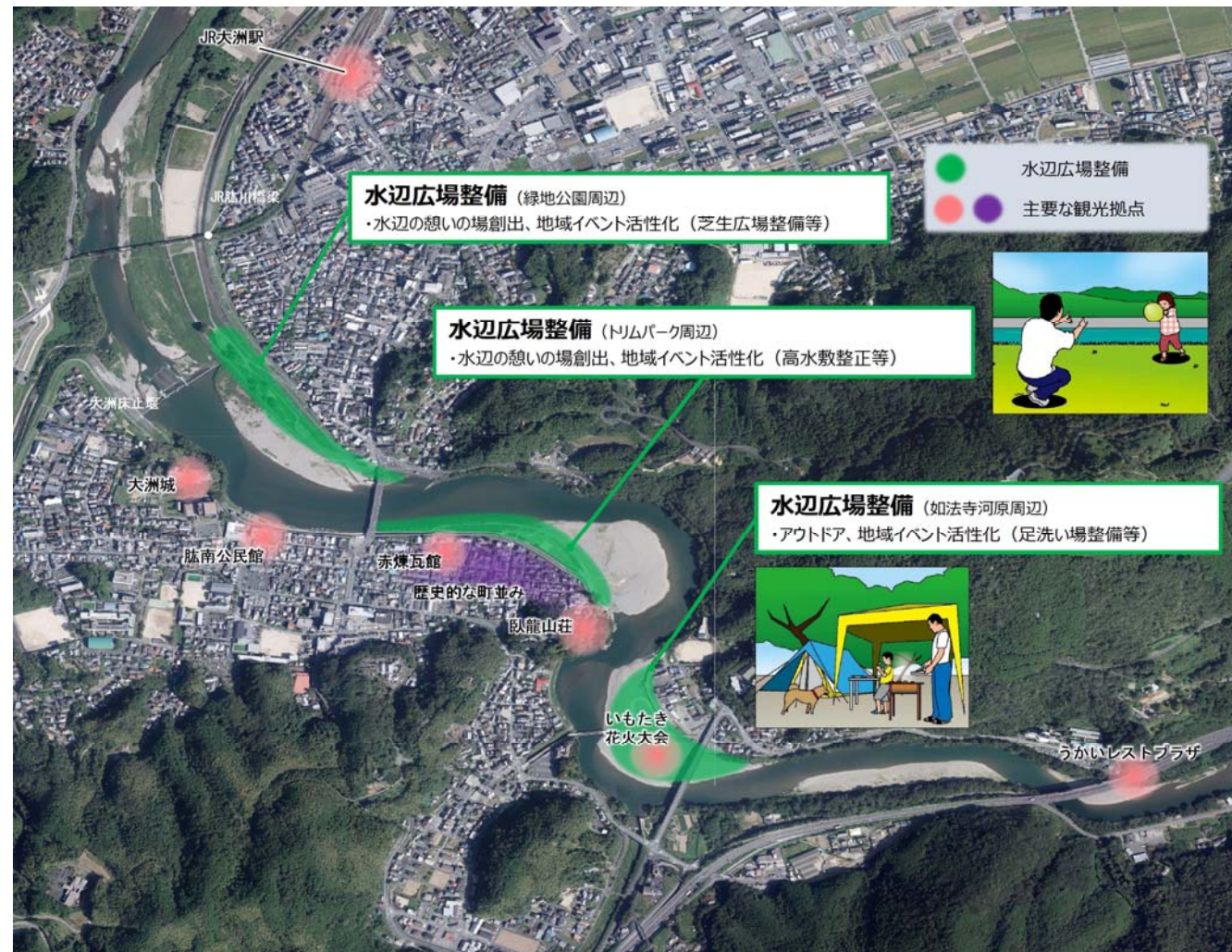
## 整備項目

## 整備項目2：水辺広場整備

### 整備概要

日常的な利用や地域イベント、アウトドアなどを楽しむことができる水辺広場を整備する。肱川緑地周辺においては、オープンスペースを拡幅し芝生広場等を整備する。また、如法寺河原周辺については足洗い場等を設置するなど利便性の向上を図る。

なお、如法寺地区では河川激甚災害対策特別緊急事業による堤防嵩上げが進められていることから、治水事業と連携して水辺の賑わい創出を目指す。

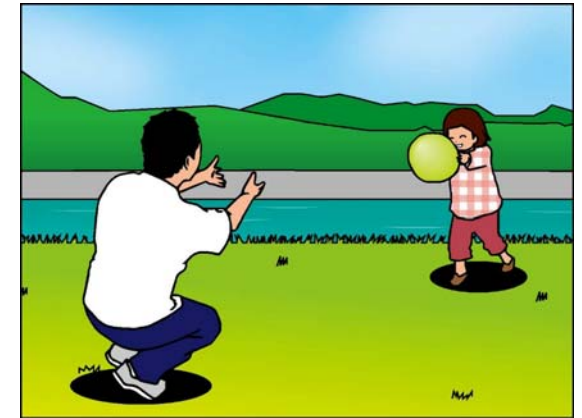


出典：国土地理院ウェブサイト (<https://mapps.gsi.go.jp/>)  
空中写真(国土地理院)より作成

### 整備・維持管理体制

- 水辺広場整備（高水敷整正等）：河川管理者(国)
- 水辺広場整備（水道設備等）：大洲市

### 整備イメージ(合成写真、イメージ図、パース図等)



水辺広場の活用イメージ

### 整備の効果

#### ○緑地公園周辺

緑地公園では、毎年大洲川まつり花火大会やえひめYOSAKOI祭り等が開催され、イベント時には賑わいを見せている。オープンスペースを拡幅し、芝生広場や駐車場などを整備することにより、イベント開催時の利便性向上ならびに家族連れなどの日常的な利用の促進が期待できる。

#### ○如法寺河原周辺

如法寺河原は、いもたきや水天宮花火大会などが開催されており地域住民との関わりが深い河原である。既設のトイレなどを有効に利用し、足洗い場などを新たに設置することによりキャンプやバーベキューなどアウトドア利用促進が見込まれる。

### 推進体制

かわまちづくり協議会では実際に地域活動を行っている方の参加のもと、ワークショップを開催している。地域一体となって、ソフト整備も含めた計画を進め、観光客、地元住民にとって魅力あふれる整備を行う。

整備項目

整備項目3：フットパス整備

整備概要

既存の経路を有効に活用しつつ、水辺の拠点や広場、大洲城、臥龍山荘、鶯飼い、おはなはん通り等、大洲を代表する観光資源を結ぶフットパスを整備する。



整備・維持管理体制

- フットパス整備(まちなか経路)：大洲市
- フットパス整備(大洲市遊覧道路)：大洲市、河川管理者(国)
- フットパス整備(その他)：河川管理者(国)

出典：ArcGIS  
道路地図より作成

整備イメージ(合成写真、イメージ図、パース図等)



フットパス整備後の活用イメージ

整備の効果

○フットパス整備

交通結節点であるJR伊予大洲駅から肱川橋を通り、主要観光施設である大洲城や臥龍山荘等を結んだ経路が確保出来る。川沿いのフットパスは、観光客の移動経路としてだけでなく、地元住民の散歩道としても活用が見込まれる。まちなか経路には景観に配慮した照明を整備し、夜でも安全に分かりやすく移動できる、快適なまち空間を演出する。

推進体制

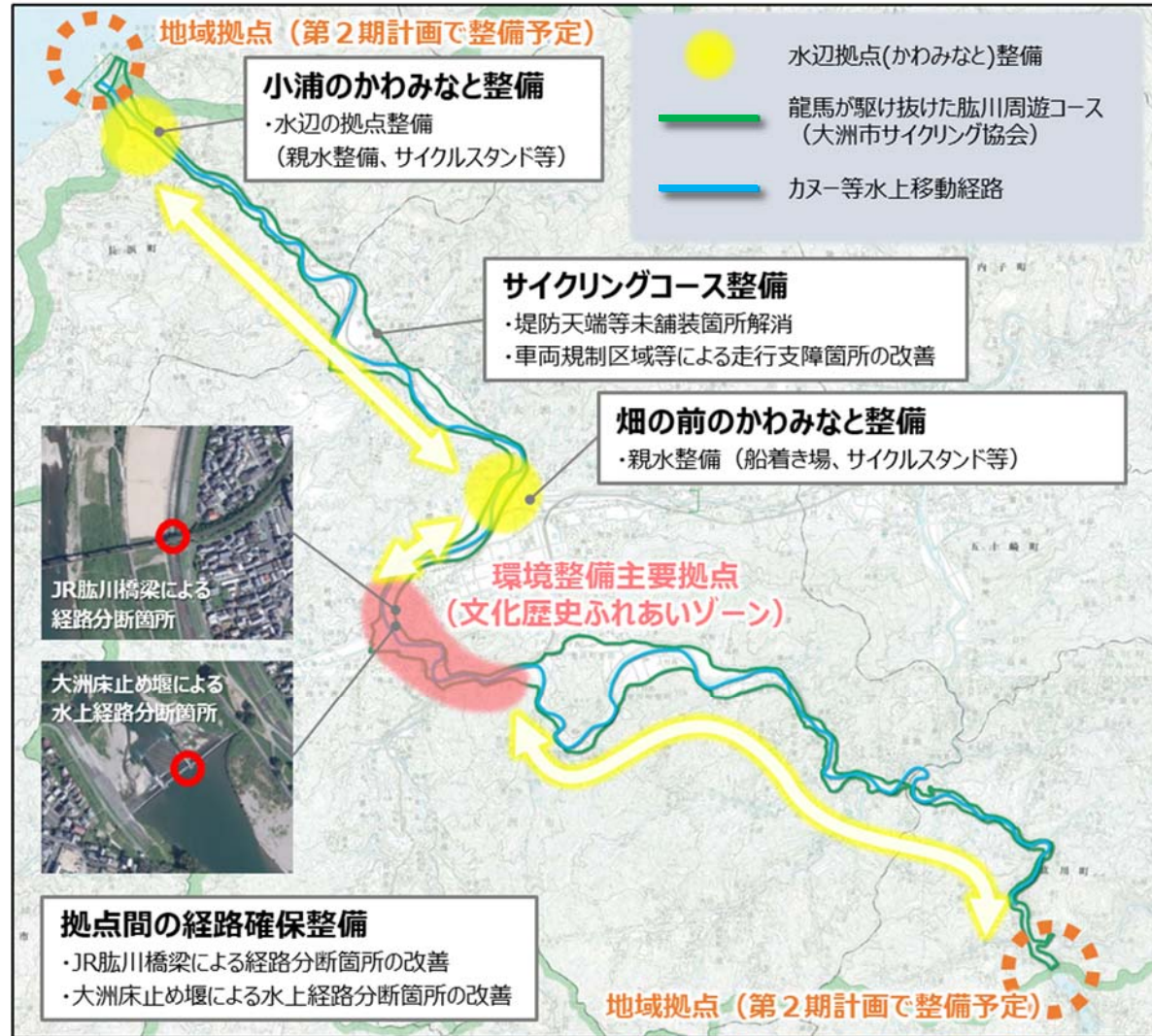
地元代表、大洲市、愛媛県、国で構成される肱川かわまちづくり協議会のもと、かわまちづくり計画が進められている。大洲市肱南公民館周辺整備基本構想と合せて計画を進めることにより、相乗効果で観光客、地元住民にとって魅力あふれる整備を行う。

整備項目

整備項目4：広域移動軸整備

整備概要

既存施設を有効に活用してサイクリングやカヌー利用者などが立ち寄れる水辺の拠点を整備するとともに、上流から下流まで各拠点をつなぐ移動経路を確保する。サイクリングコースは、既存の道路や河川管理用道路を有効に活用し、橋梁による分断箇所や未舗装箇所、車両規制区域等により走行に支障が出る箇所の改善を図る。また、大洲床止め堰による水上移動経路の分断箇所の改善を図る。

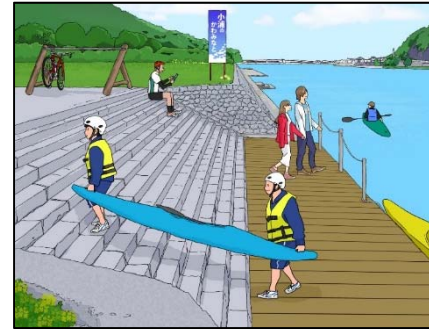
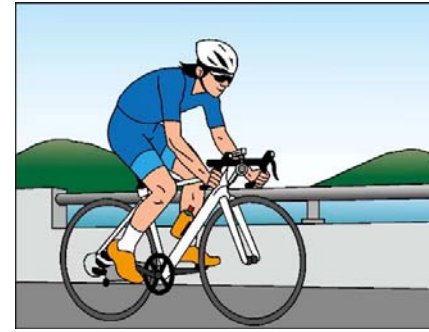


出典：肱川流域平面図  
肱川流域平面図より作成

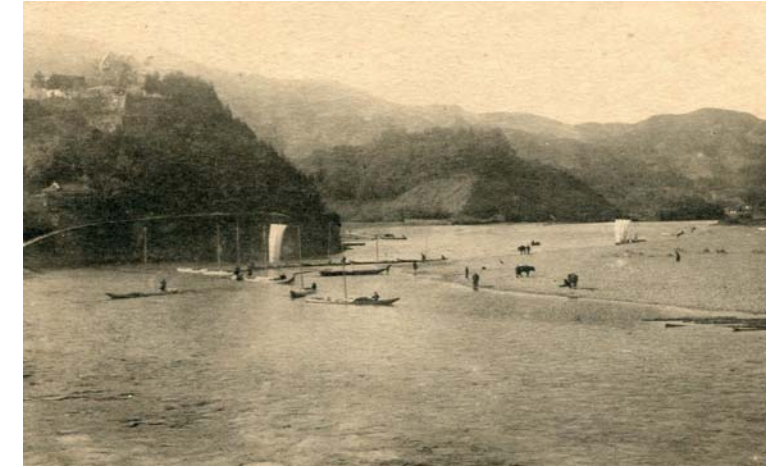
整備・維持管理体制

- かわみなと（親水空間整備）：河川管理者（国）
- かわみなと（サイクルスタンド、案内看板、トイレ、水道等）：大洲市
- サイクリングコース整備（未舗装箇所舗装等）：国、愛媛県、大洲市
- 拠点間の移動経路確保整備：河川管理者（国）

整備イメージ(合成写真、イメージ図、パース図等)



広域移動軸整備後の活用イメージ



出典：大洲市立博物館所蔵資料

かつての肱川での舟運の様子

整備の効果

○かわみなとの整備

肱川では、国立大洲青少年交流の家によるカヌー体験や高校カヌー部等の活動が盛んに行われているほか、愛媛県全体の取り組み「愛媛マルゴト自転車道」では肱川沿いを走る「龍馬脱藩ルート」が設定されており、サイクリストにも親しまれている。かわみなとの整備により、利用者が休憩などで立ち寄ることが可能となり水辺の賑わい創出が期待できる。

○サイクリングコース整備（未舗装箇所舗装等）

サイクリングコース整備により利用者の利便性・安全性が向上すると共に、拠点間が結ばれることにより上下流での交流の活性化が期待出来る。

○拠点間の経路確保（JR肱川橋梁による天端道路分断箇所改善）

一貫して川沿いを通ることができ、サイクリングイベントやマラソン大会等での活用が期待できる。また、緊急用資材等が保管されている防災ステーションから河川沿いを上流に移動できるようになり、広域災害時等の迅速な対応が可能になる。

○拠点間の経路確保（大洲床止め堰による分断箇所改善）

現状では、カヌー利用者はいったん凹凸の多い低水敷をカヌー等を引ながら高水敷まで上がり、大洲床止め堰を超えて再度戻る経路をたどっている。改善により、河道から離れることなく低水路を通過出来るようになる。カヌー等利用者の利便性が向上するとともに、かつて肱川での舟運が盛んであった頃のように上流から下流までかわみなとを移動することが可能となる。

推進体制

大洲市サイクリング協会、愛媛県カヌー協会の協力のもと、利用者にとって利便性の高い整備をめざし、地域一体となった体制で推進する。